



歴史の駅 × 高輪区民センター
共催講座 第1弾

物部氏と天皇

～この国をつくったのは誰か～

今年は、日本におきまして大きな変革を迎える年となります。
天皇が代わり、新元号となりましたこの機会に、日本国を振り返り、
あらためて歴史の始まりを考える機会にしたいと思います。

講演

関裕二氏 (歴史作家)

いわぶえ

石笛演奏

横澤和也氏

司会：三谷啓子氏

2019年5月18日(土) 13:30～(開場13:00)

高輪区民センター (港区高輪 1-16-25 高輪コミュニティーぷらざ内)

主催：NPO 法人歴史の駅・高輪区民センター

後援：港区

参加費：1,000円 (事前申込制/先着250名、費用は当日会場にてお支払いください)

お申込方法：歴史の駅公式サイトから / 裏面のお申込書に記載の上、FAXから

お問い合わせ：NPO 法人歴史の駅事務局 080-5013-3355 / info@rekishinoeki.org

高輪区民センター 03-5421-7616



歴史の駅 公式サイト
<http://rekishinoeki.jp>

物部氏と天皇



講師：関 裕二 氏

1959（昭和34）年、千葉県柏市生まれ。歴史作家。仏教美術に魅せられて奈良に通いつめ、独学で日本古代史を研究。『藤原氏の正体』『蘇我氏の正体』『物部氏の正体』『古代史50の秘密』など著書多数。

近著に『神武天皇 vs 卑弥呼 ヤマト建国を推理する』

『「始まりの国」淡路と「陰の王国」大阪—古代史謎解き紀行』



石笛演奏：横澤 和也 氏

長野県安曇野出身。1985年、奈良県奥吉野にある天河弁財天社で石笛に出会い、その音色、響きに魅せられる。石笛、篠笛、竹笛、Flute、御声などの様々な息吹を通して、一期一会の音空間を創造する演奏家として、国内外で活躍している。西洋音楽から学んだ確かな音楽理論とテクニックに加え、天河大弁財天社での神道の修行、神楽演奏など、日本人としての感性を大切に、独特の即興演奏スタイルは、民族や宗教を超えた命の響きとして好評を得ている。石笛を音楽的に表現し、その魅力を全世界に伝えている演奏家である。



司会：三谷 啓子 氏

Voice.K代表 フリーアナウンサー、ラジオパーソナリティ、「自信がもてる話し方講座」講師。広島県広島市出身。特技は「広島お好み焼き」を焼いて振舞うこと！趣味はボランティア国際交流。防災防犯無線アナウンスの永年協力に対し立川市長から感謝状を授与される。立川拘置所で全国初の所内放送『ハート to ハート』を無償で務め注目され、新聞やテレビで報道される。

著書に、話し方テキスト『快話のすすめ1週間』

<h2>お申込書</h2> <p>下記番号までご送信ください。 FAX 050-5865-7811</p>		<p>5月18日(土) 共催講座第1弾</p>		<h1>物部氏と天皇</h1>	
お名前	フリガナ	申込日	年	月	日
	様	申込人数			名
ご連絡先	ご住所	〒			
	TEL			FAX	
	E-mail				
<p>お問合せ NPO法人歴史の駅 事務局 ☎ 080-5013-3355 ✉ info@rekishinoeki.org</p>					

都営三田線・東京メトロ南北線
白金高輪駅(1番出口)直結